

てがたんレポート Vol. 4 No. 2 (2007年2月：通巻35号)

- ・ 観察コースと内容：鳥の博物館（越冬昆虫の話し）→道路沿い（コモチシダの話し）→水神山古墳下（トウネズミモチの話し）→藤棚→遊歩道（カマキリの卵のうの話し）→遊歩道アメリカスズカケの木にてUターン（スズカケの話しとグンバイムシの越冬観察）→遊歩道（ヨコツナサシガメの越冬観察）→釣り堀前広場（まとめ&自然遊び&お知らせ&解散）
- ・ 観察日時／天気：2007年2月10日（土）10:00～12:00／晴れ
- ・ 参加人数：24人（うち小学生5人）
- ・ 観察案内&記録ボランティア・スタッフ（敬称略・五十音順）：伊藤茂子、小野喜四郎、染谷迪夫、弘実さと子、古川克彌、保田行弘
- ・ 鳥博職員：岡 廣志、斉藤安行

・ 今回のテーマ
越冬する虫を観察しよう
・ 案内人
古川克彌

観察記録ー2月に観察した生き物リストー

★観察した生き物

【鳥類】 カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ホシハジロ、オオタカ、バン、オオバン、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、コイカル、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス（37種）

（外来種や家禽が野生化した種）コブハクチョウ、ドバト

【越冬昆虫】

- ・ 成虫：ムラサキシジミ、プラタナスグンバイ、ヨコツナサシガメ、
- ・ 卵：オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ

【クモ】アシナガグモの仲間

【花】

- ・ 黄色：オニノゲシ、ノボロギク、タガラシ、セイヨウタンポポ、オニタビラコ
- ・ 青・紫：オオイヌノフグリ
- ・ 白：タネツケバナ
- ・ 赤：ホトケノザ、ヤブツバキ

【木の実】トウネズミモチ、アメリカスズカメノキ

2月の観察アルバム



各ポイントで、古川さんの詳しい解説を聞きながらコースをまわりました



アカハラが餌をさがしてました



ホオジロがさえずってました



コモチシダは条件に応じて無性芽あるいは孢子で増殖する



葉脈が透けて見えるのが、トウネズミモチ (cf.ネズミモチ)

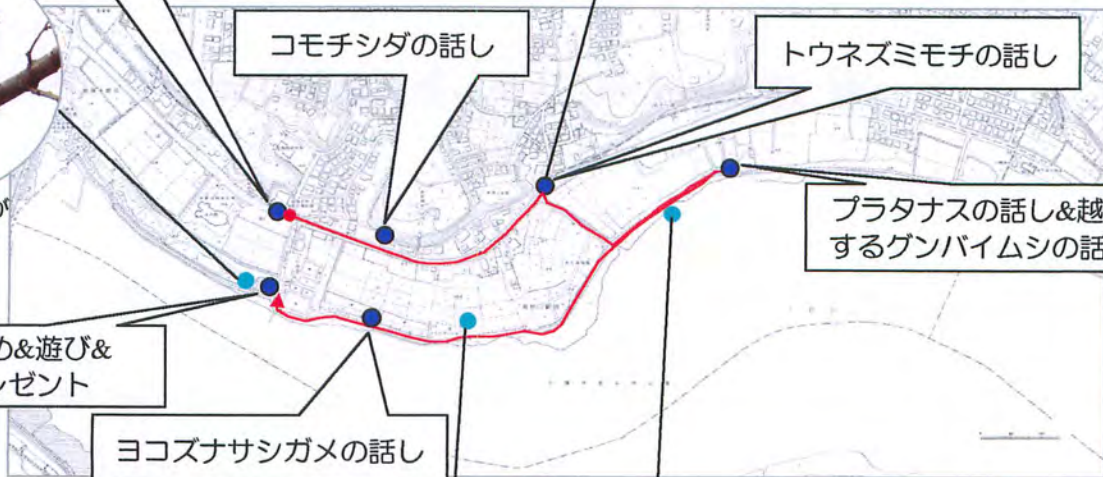
越冬昆虫の話し

コモチシダの話し

トウネズミモチの話し



珍しくコイカルが姿を現しました



まとめ&遊び&プレゼント

ヨコズナサシガメの話し

プラタナスの話し&越冬するグンバイムシの話し



保田さんがツバキの種でつくった人形をプレゼントしてくれました



田んぼの中でコサギが休んでました



シジュウカラが活発に動き回ってました



果実が柄に一個ずつつのがアメリカスズカケノキ



古川さんからの蝶の標本プレゼント (オオムラサキ) を僚海くんがゲット



ニセアカシアの樹幹の北面 (気温が安定) でヨコズナサシガメが集団越冬



プラタナス (アメリカスズカケノキ) の樹幹北面 (気温が安定) でプラタナスグンバイが集団越冬